

## 小委員会の会議結果概要

開催日時：平成 31 年 1 月 23 日（水）午後 7 時～午後 8 時 30 分

会 場：千葉県松戸健康福祉センター（松戸保健所）会議室

出席者：別添委員名簿のとおり

### 1. 病床機能の定量的な基準の検討について(埼玉方式)

千葉県は、定量的基準の設定に向けて、診療内容から病床機能を推定するにあたり、既存の病床機能報告を活用した埼玉方式を導入する方向で関係者と協議しており、本圏域においても小委員会でその妥当性について協議した。

小委員会では、埼玉方式について、

- ・高度急性期の評価において、内科的項目が入っていないことや高度急性期として妥当とは言えない項目が入っているではないか。
- ・全体的には国の目指す値に近い形になっていることが危惧される。
- ・病院機能評価を取っていることも質的評価として活用してほしい

等の意見があった。

これらの意見及び他圏域における意見や千葉大学の見解も踏まえながら事務局では今後も継続的に定量化指標について検討することとし、来年度からの実態把握の一つの方法として埼玉方式を導入するについて、小委員会において賛同を得たところであった。

### 2. 来年度の取組について

小委員会における検討課題として挙げられた項目は以下のとおりであった。

- 医療機関の役割分担と連携の推進について(特に公的医療機関等が地域で担う役割)
- 在宅医療を含めた地域の課題について
- 周産期医療体制の充実について
- 地域医療介護総合確保基金の活用について
- 小規模病院との意見交換

### 3. その他

事務局より、次年度の調整会議の開催方針として、全県単位での調整会議を含め、年4回程度の開催を予定していると説明があった。

そのため、本圏域の調整会議は、全県単位での開催1回を含む、年4回とし、3回(小委員会2回、全体会議1回)の開催とする提案がなされ承認された。

なお、本圏域の全体会議の開催は、小委員会の開催等のスケジュールから、年度の後半となる予定である。埼玉方式を参考とした定量的な基準の公表が早い場合、他圏域と公表時期に差が生じる可能性が危惧されるとの意見が出された。

これを踏まえて、事務局から、ホームページ掲載や各医療機関へのメール送付等の活用及び小委員会での説明と議事録の公表等を工夫して、公表が他圏域との差が出ないように配慮する方針であることを説明された。

平成30年度 東葛北部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議  
小委員会 委員名簿

	団体名等	氏名	備考
1	松戸市医師会	会長 東 仲宣	委員長
2	松戸市医師会	和座 一弘	
3	流山市医師会	会長 鈴木 隆	副委員長
4	流山市医師会	石塚 朋樹	
5	我孫子医師会	会長 土井 紀弘	
6	我孫子医師会	加藤 一良	
7	柏市医師会	会長 金江 清	
8	柏市医師会	長瀬慈村	
9	野田市医師会	会長 金本 秀之	
10	野田市医師会	岡田 吉郎	
11	松戸健康福祉センター	センター長 新 玲子	
12	野田健康福祉センター	センター長 杉戸 一寿	
13	柏市保健所	所長 山崎 彰美	